

教師一人一人が学び続けるための研究授業の在り方（高等学校）

－ 研究授業における授業参観者の関わりに着目して －

（一年次）

【研究者】

教科教育部 指導主事 大平理恵・土肥潤一郎・片岡巧・岩田啓吾・阿部しのぶ・中村素子

【研究指導者】

福井大学大学院連合教職開発研究科 教授・研究科長 木村優

【研究協力者】

教科教育部 指導主事 中島早織・古川明德・松本大裕・桑原利通・平元克弥・中島純平

他の教科の研究授業って
どのように参観したらいいのだろう・・・。



授業者に何を
フィードバックしたらいいのだろう・・・。

教師一人一人が学び続けるための**研究授業**の在り方（高等学校）

— 研究授業における授業参観者の関わりに着目して —
（一年次）

＜本研究における研究授業＞

授業改善を目的として教師間に公開される授業を
中核とした協働的な学びの場であるとし、事前・事
後協議等の一連の取組や、授業後に行われる授業改
善に向けた継続的な取組も研究対象とする。

教師一人一人が学び続けるための研究授業の在り方 **（高等学校）**

— 研究授業における授業参観者の関わりに着目して —
（一年次）

○令和5年度広島県高等学校生徒質問紙・学校質問紙調査報告書
IV 学校質問紙調査結果 2 その他の教育活動に関する調査の結果

＜研究授業に係る各項目の回答の割合（％）＞

	学年	あてはまる		あてはまらない	
		よく	やや	あまり	まったく
公開で研究授業を実施している。	1	88.8	8.6	0.9	1.7
	2	87.9	10.3	0.9	0.9
教科内で授業を公開し、研修している。	1	54.3	29.3	7.8	8.6
	2	58.6	26.7	8.6	6.0
教科等を越えて授業を公開し、研修している。	1	71.6	21.6	5.2	1.7
	2	72.4	23.3	3.4	0.9

教師一人一人が学び続けるための研究授業の在り方 **(高等学校)**

— 研究授業における授業参観者の関わりに着目して —
(一年次)

高等学校では小・中学校と比べて

- ・ 校内研究や授業研究に関する取組が低調
- ・ 校内研究や授業研究に取組むこと自体に課題

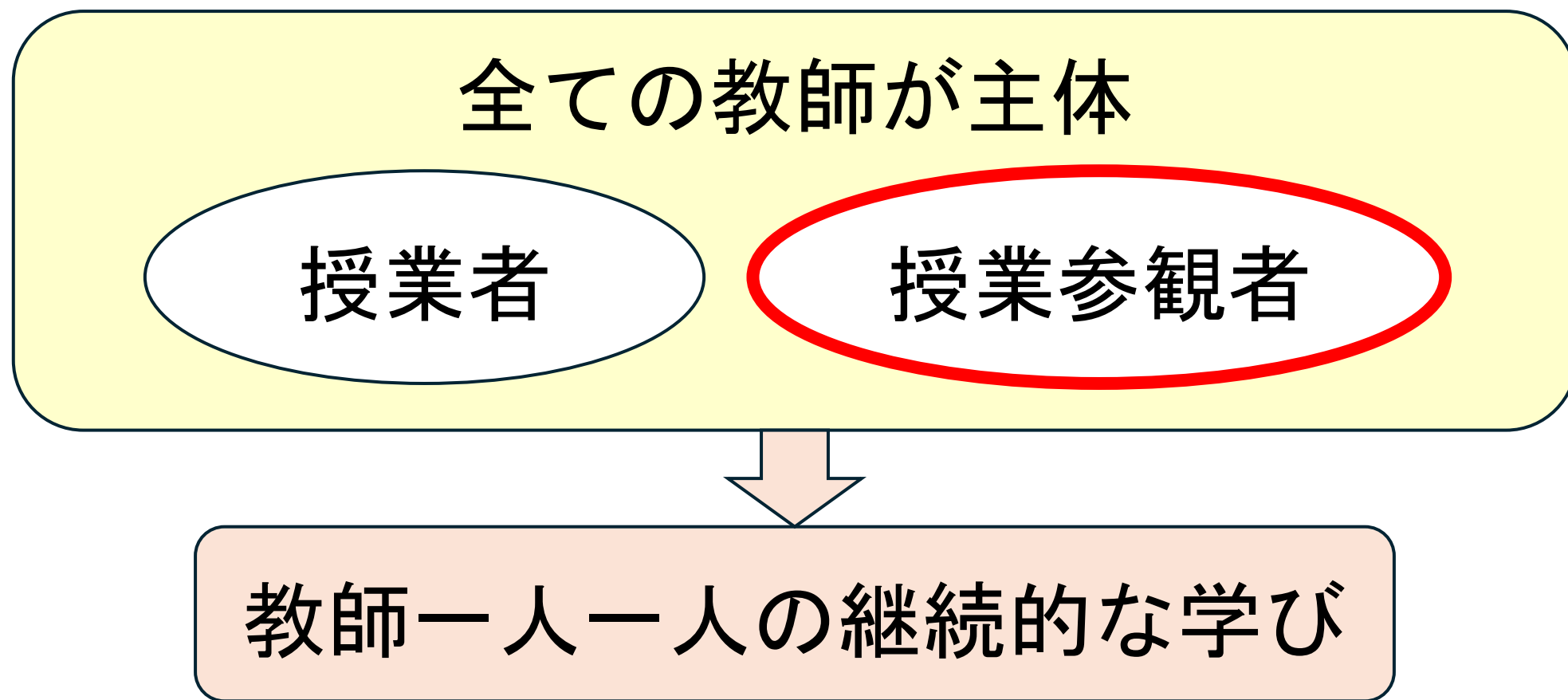
(国立教育政策研究所 (2010) : 「校内研究等の実施状況に関する調査」 p. 24)

教科専門性が高い
ことに起因した課題

(石井和世 (2014) : 「授業改革から高校改革へ
教員の意識を変えた「授業研究会」」 学事出版p. 83)

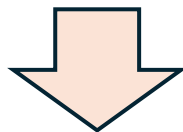
教師一人一人が学び続けるための研究授業の在り方（高等学校）

- 研究授業における授業参観者の関わりに着目して —
（一年次）



教師一人一人が学び続けるための研究授業の在り方（高等学校）
— 研究授業における**授業参観者の関わりに着目して** —
（一年次）

授業参観者の当事者性



当事者が主体となる研究授業

<研究の計画>

<一年次>

- 研究授業に係る先行研究
- 教員への「研究授業に係るアンケート」の実施及び結果の分析・考察
- 研究仮説の設定

<二年次>

- 研究仮説に基づいた「授業参観者の手引き（仮称）（案）」の作成
- 研究協力校における実践
- 研究協力校教員への「研究授業に係るアンケート」等事後調査の実施及び結果の分析・考察
- 「授業参観者の手引き（仮称）（案）」の有効性の検討及び改善
- 「授業参観者の手引き（仮称）」の提案

＜アンケート調査の目的＞

広島県における研究授業の現状、とりわけ**授業参観者**の研究授業に対する取り組み方や意識の実態を、授業者との比較も含めて明らかにする。

＜アンケート調査対象＞

県内16校（規模、地域、学科、課程等のバランスを考慮して抽出）の県立高等学校教員（本務者）

・ ・ ・ 回答者数 計243名

専門職としての教師の三つの資本

人的資本

個人の特性（知識、技術、理解、情動性知能、適性、心構え）等

社会関係資本

教師間の協働、ネットワーク等

意思決定資本

不確実な状況下での判断力・決断力、
経験と実践と省察等

研究授業における授業参観者の三つの資本

人的資本

教科等の指導に係る
知識・技能、
子どもを理解する力

社会関係資本

主体的な学びを促す
研究授業に係る協議や相談の場

意思決定資本

授業を見る視点を明らかにした授業参観、記録に基づき
解釈、自身の経験や実践と照らし合わせた省察



教師一人一人の継続的な学び

当事者としての主体性

人的資本

社会関係資本

主体的な学びを促す
研究授業に係る協議や相談の場

意思決定資本

授業を見る視点を明らかにした授業参観、記録に基づく解釈、自身の経験や実践と照らし合わせた省察

「研究授業に係るアンケート」の調査項目

【カテゴリー１】 基本情報

【カテゴリー２】 授業者の社会関係資本

【カテゴリー３】 授業者の意思決定資本

【カテゴリー４】 授業参観者の社会関係資本

【カテゴリー５】 授業参観者の意思決定資本

＜項目 9＞研究授業を**授業者**として行う際は、研究授業を自分自身の**研修の機会**として捉える。

	割合 (%)
4 当てはまる	70.4
3 どちらかといえば当てはまる	25.9
2 どちらかといえば当てはまらない	2.9
1 当てはまらない	0.8
合計	100.0

＜項目21＞研究授業に**授業参観者**として参加する際は、研究授業を自分自身の**研修の機会**として捉える。

	割合 (%)
4 当てはまる	62.6
3 どちらかといえば当てはまる	35.8
2 どちらかといえば当てはまらない	1.2
1 当てはまらない	0.4
合計	100.0

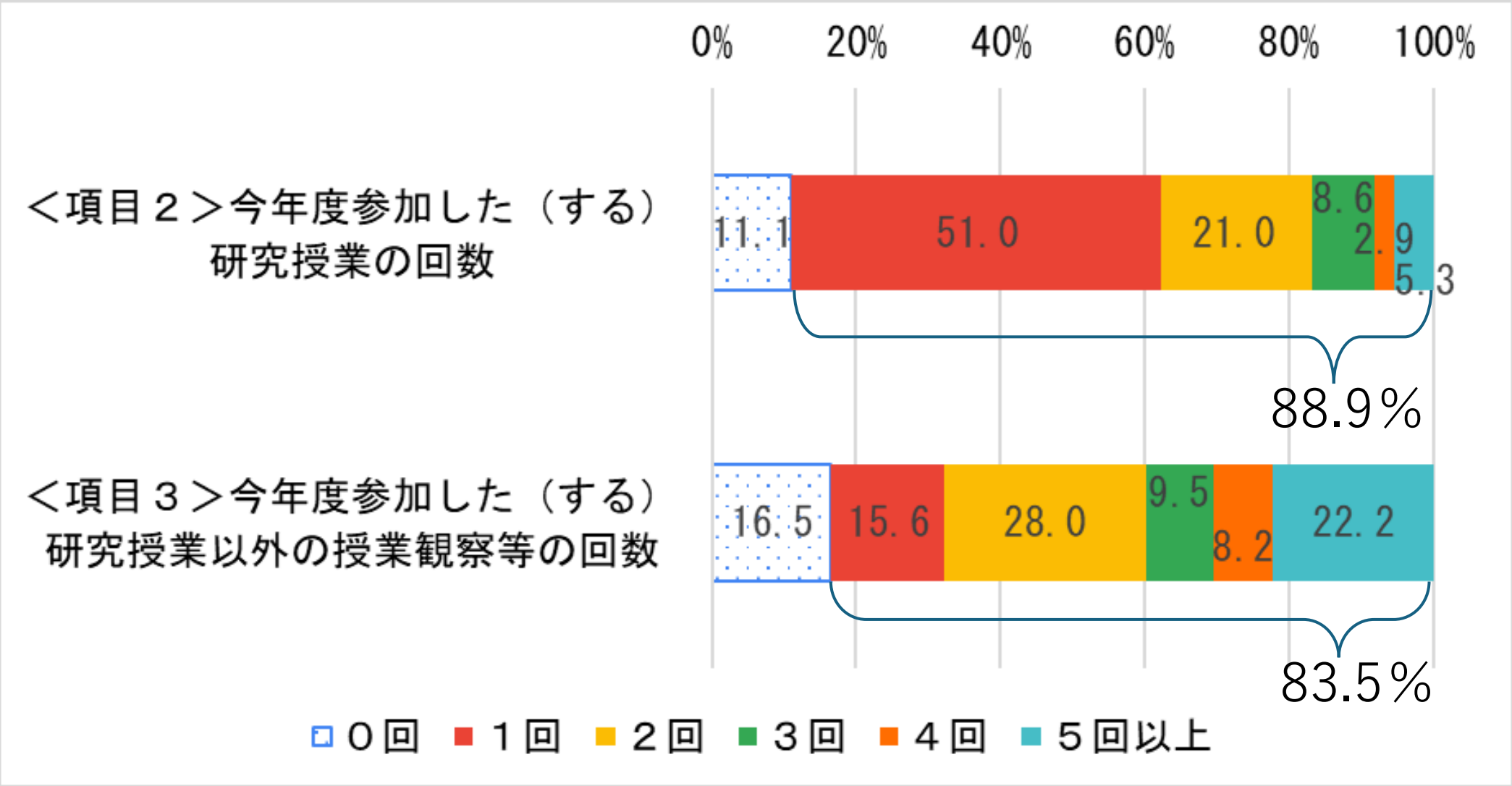
＜項目 9＞研究授業を**授業者**として行う際は、研究授業を自分自身の**研修の機会**として捉える。

	割合 (%)
4 当てはまる	70.4
3 どちらかといえば当てはまる	25.9
2 どちらかといえば当てはまらない	2.9
1 当てはまらない	0.8
合計	100.0

＜項目21＞研究授業に**授業参観者**として参加する際は、研究授業を自分自身の**研修の機会**として捉える。

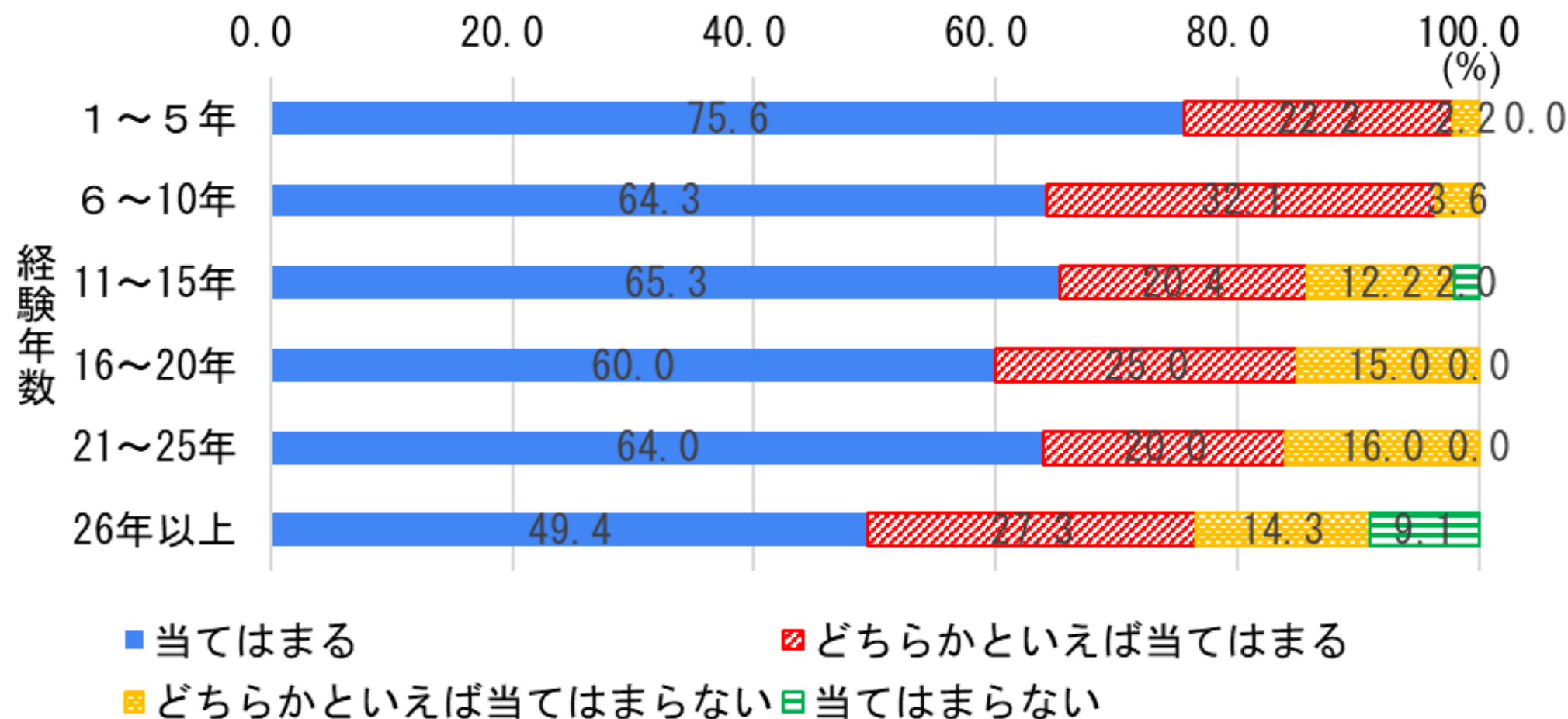
	割合 (%)
4 当てはまる	62.6
3 どちらかといえば当てはまる	35.8
2 どちらかといえば当てはまらない	1.2
1 当てはまらない	0.4
合計	100.0

【カテゴリー 1】 基本情報



【カテゴリー 2】 授業者の社会関係資本

＜項目４＞研究授業を授業者として行う際は、事前に同僚（管理職は含まない）に相談したり、同僚の授業参観者からアイデアを得たりする。



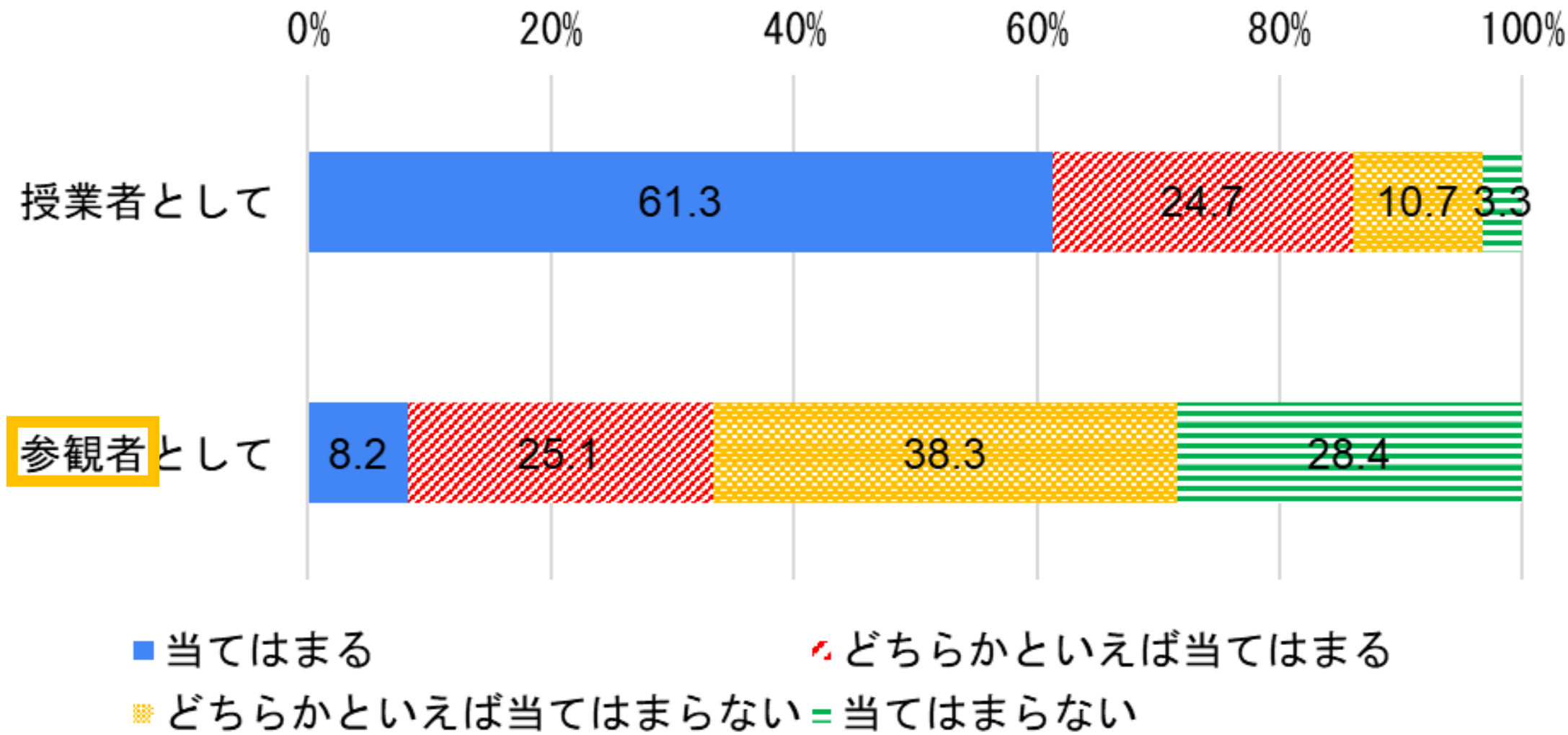
＜項目 7＞研究授業を**授業者**として行う際は、授業観察の視点を共有できるように、授業参観者との**事前の協議等を行う**。

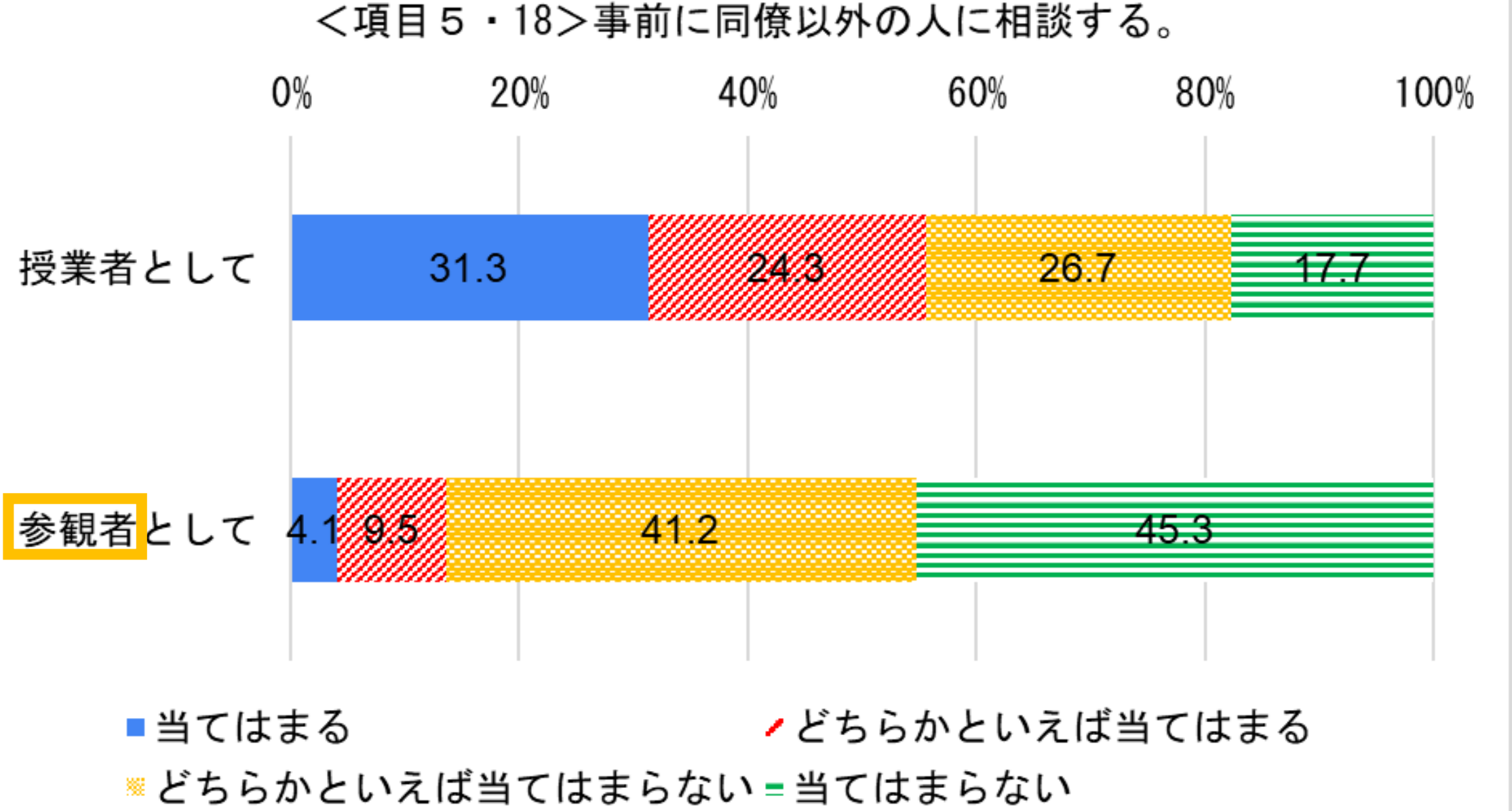
	割合（％）
肯定的回答	26.7
消極的・否定的回答	73.3

【カテゴリー 2】 授業者の社会関係資本

【カテゴリー 4】 授業参観者の社会関係資本

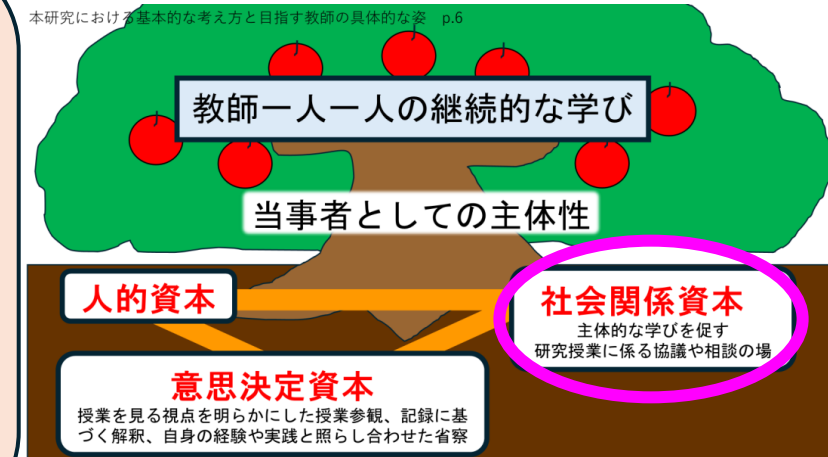
＜項目４・１７＞事前に同僚（管理職は含まない）に相談したり、
同僚の授業参観者からアイデアを得たりする。





☆社会関係資本に係る調査結果から

同僚等とのネットワークの中で学び合う社会関係資本が豊かなものになっていない（特に授業参観者としての場合）。



社会関係資本は、他者の人的資本へのアクセスをもたらし、意思決定資本にとって不可欠である。

（アンディ・ハーグリーブス マイケル・フラン（2022）：「専門職としての教師の資本－21世紀を革新する教師・学校・教育政策のグランドデザイン－」 pp. 200-212を基に作成）

研究授業に**授業参観者**として参加する際に、
事前に何を相談したら良いのだろう・・・？



授業を見る視点の四つの位相

スコープ＝範囲

授業をいかなる範囲で
見ているのか

フォーカス＝焦点

何に/誰に焦点を
絞って授業を
見ているのか

レンズ＝光

いかなる出来事や事実
に光を当てて授業を
見ているのか

スタンス＝立場

いかなる立場で授業を
見ているのか



スコープ

〇〇について明らかにしたいのですが、どのような時間的範囲で授業を見たら良いのでしょうか？

単元の最初と最後の授業を見るのはどうですか。

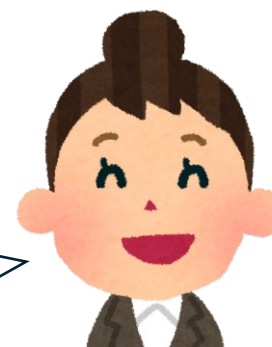


今年度初めて〇〇主任になったのですが、どのような心構えで授業を見たら良いのでしょうか？



スタンス

学校の研究主題と照らし合わせて、育成したい資質・能力に着目すると良いかもしれませんね。



【カテゴリー 3】 授業者の意思決定資本

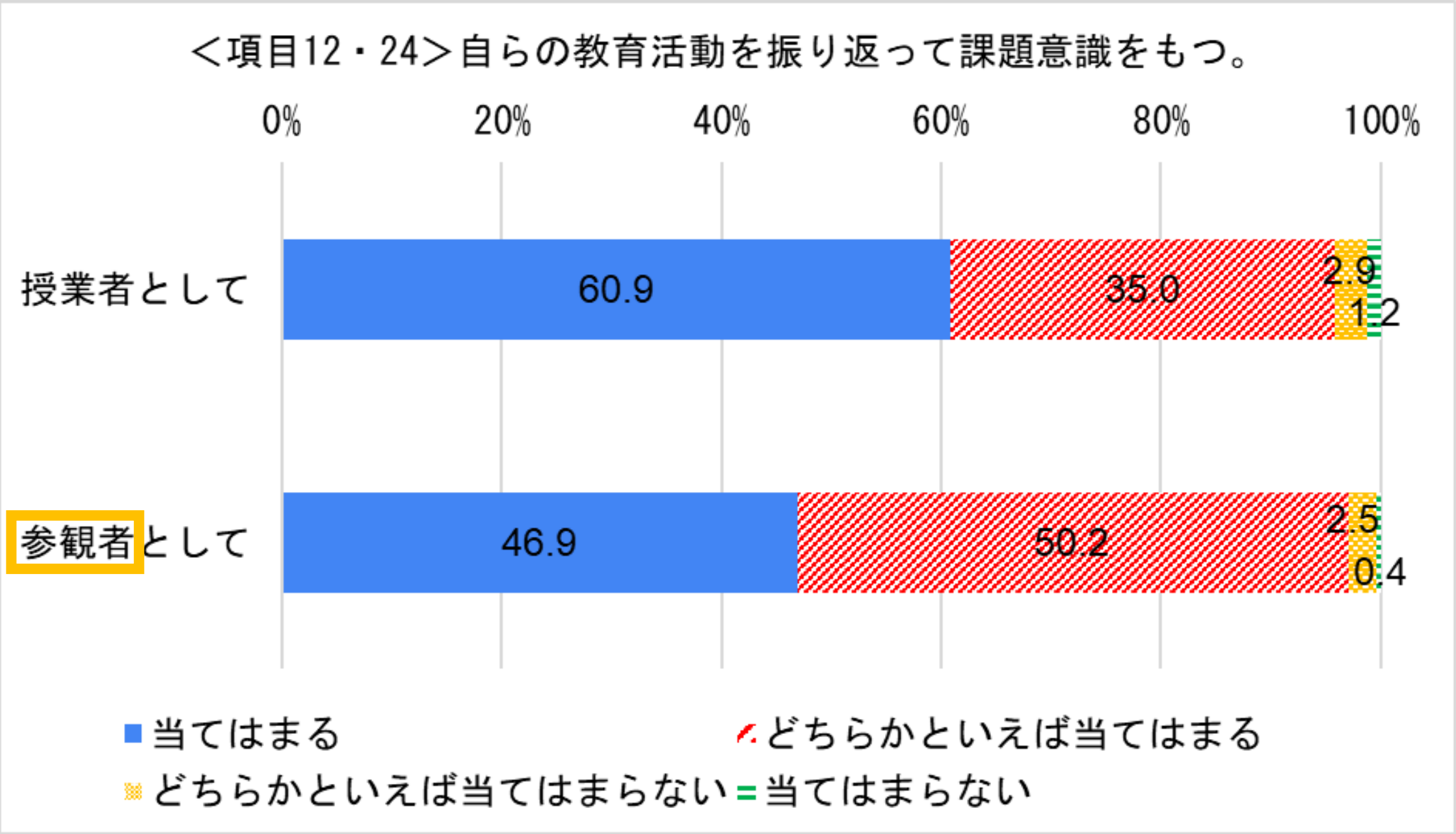
【カテゴリー 5】 授業参観者の意思決定資本

＜項目10・22＞学校の教育活動における**研究授業の位置付けを意識する**。

	授業者 として（％）	参観者 として（％）
肯定的回答	44.9	37.0
消極的・否定的回答	55.1	63.0

＜項目11・23＞研究授業と**他の研修会**（校内外を問わない）**との関連性**
を意識する。

	授業者 として（％）	参観者 として（％）
肯定的回答	16.5	18.5
消極的・否定的回答	83.5	81.5



<項目15>研究授業を**授業者**として行うことで自らの**学びが得られる**と感じる。

	割合（％）
4 当てはまる	51.9
3 どちらかといえば当てはまる	44.9
2 どちらかといえば当てはまらない	2.5
1 当てはまらない	0.8
合計	100.0

＜項目16＞項目15で2または1と答えた方のみお答えください。研究授業を**授業者**として行うことで**自らの学びが得られると感じない**のはどうしてだと思えますか。その**理由**として考えられることについて、次の回答欄に自由に記述してください。

- 負担が大きいため。
- やらされている感があり、能動的ではないため。
- 研究授業と同様の内容は普段の授業ではできないため。

＜項目36＞研究授業に**授業参観者**として参加することで自らの**学びが得られる**と感じる。

	割合（％）
4 当てはまる	51.4
3 どちらかといえば当てはまる	46.1
2 どちらかといえば当てはまらない	2.1
1 当てはまらない	0.4
合計	100.0

＜項目37＞項目36で2または1と答えた方のみお答えください。研究授業に**授業参観者**として参加することで**自らの学びが得られると感じない**のはどうしてだと思いますか。その**理由**として考えられることについて、次の回答欄に自由に記述してください。

- ・ パフォーマンス的なところに焦点を当ててしまっ
自分の授業で取り入れることを意識していないため
- ・ 自分の学びとは切り離して授業を参観しているため
- ・ 自分の授業に生かせるかどうか分からないため
- ・ 研究授業と同様の内容は普段の授業ではできないため

☆意思決定資本に係る調査結果から

必ずしも意義ある仕事として
受け止められていない背景

「義務化」 「形骸化」 「非日常化」

（鹿毛雅治・藤本和久（2017）：「「授業研究」を創る—教師が学び合う学校を実現するために—」教育出版 p. 72）



本県の高等学校においても同様の課題

「当てはまる」と回答した割合がいずれも 5 割未満

- 研究授業における自分の立場を意識すること。スタンス
- 自身が研究授業で明らかにしたい課題を意識すること。レンズ
- 授業で着目する範囲を意識すること。スコープ
- 観察の焦点を絞ること。フォーカス
- 「自身が研究授業で明らかにしたい課題」と「授業で着目する範囲」と「観察の焦点」の関連性を意識すること。レンズ スコープ フォーカス

☆参観者の意思決定資本に係る調査結果から

先行研究から

授業を見る「視点」の四つの位相

スコープ＝範囲

授業をいかなる範囲で見ているのか

レンズ＝光

いかなる出来事や事実
に光を当てて授業を
見ているのか

フォーカス＝焦点

何に/誰に焦点を
絞って授業を
見ているのか

スタンス＝立場

いかなる立場で授業を
見ているのか

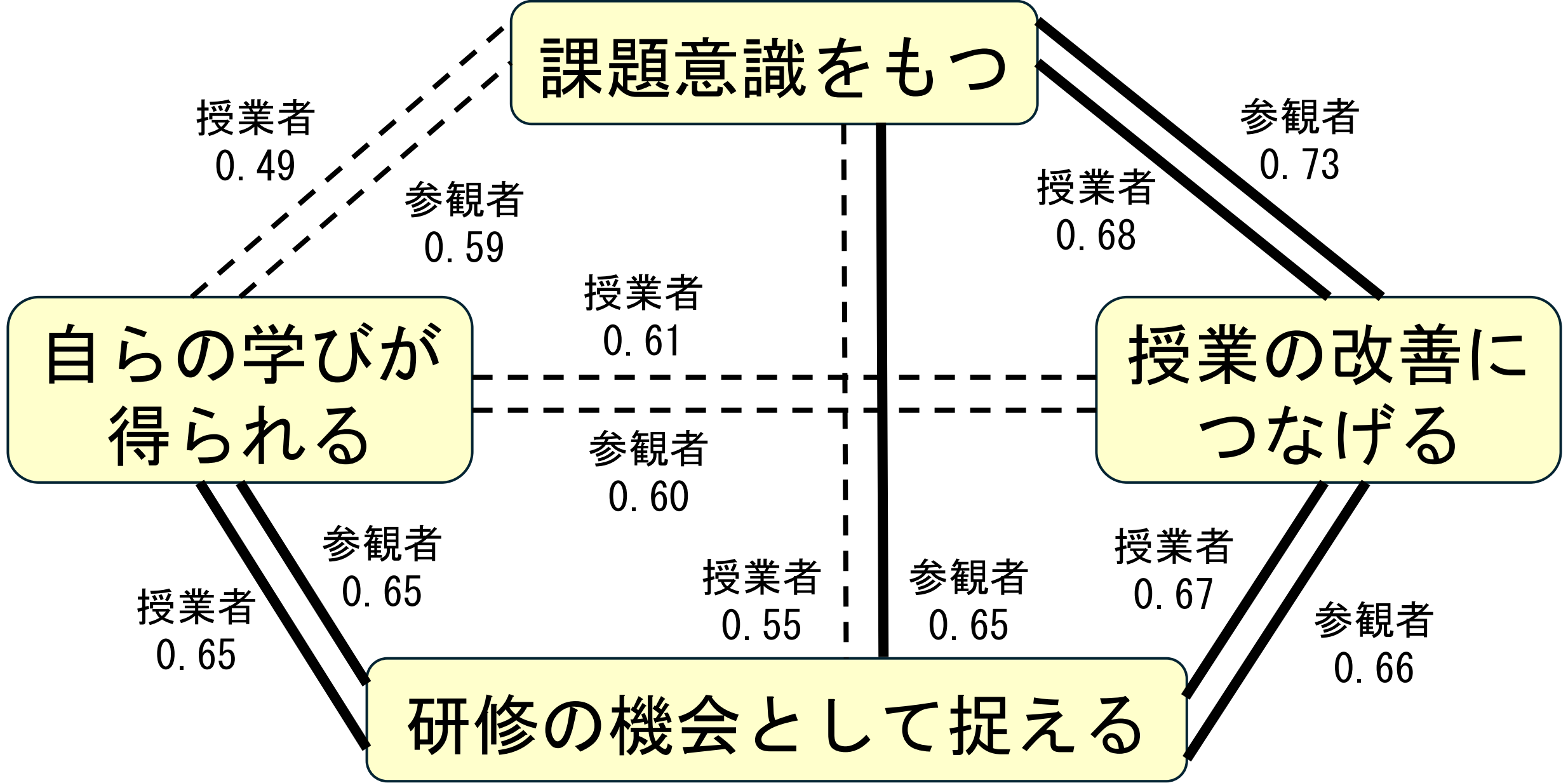
本研究における基本的な考え方と目指す教師の具体的な姿 p.6



(木村優・岸野麻衣 (2019) : 「授業研究 実践を変え、理論を革新する」新曜社pp. 47-53を参考に作成)

授業を見る視点（スコープ、フォーカス、レンズ、スタンス）を明らかにして授業を参観することができていない。

項目の組合せ		相関 係数
<項目 9> (授業者) 研修の機会として捉える	<項目13> (授業者) 自身の 授業の改善につなげる	0.67
	<項目15> (授業者) 自らの学びが得られる	0.65
<項目12> (授業者) 教育活動を振り返って 課題意識をもつ	<項目13> (授業者) 自身の 授業の改善につなげる	0.68
<項目21> (参観者) 研修の機会として捉える	<項目24> (参観者) 教育活動を振り返って 課題意識をもつ	0.65
	<項目25> (参観者) 自身の 授業の改善につなげる	0.66
	<項目36> (参観者) 自らの学びが得られる	0.65
<項目24> (参観者) 教育活動を振り返って 課題意識をもつ	<項目25> (参観者) 自身の 授業の改善につなげる	0.73



<研究仮説>

- ①研究授業に係る協議や相談を促す場づくりを行うことにより社会関係資本を豊かにすることが出来る。その結果、次の割合が高くなる。

事前に同僚に相談したり、同僚からアイデアを得たりする。

事前に同僚以外の人に相談する。

<研究仮説>

②授業を見る視点（スコープ、フォーカス、レンズ、スタンス）を明らかにすることを促すツールを活用することにより意思決定資本を豊かにすることができる。また、授業参観者の質の高い省察を促すツールの活用や場づくりを行うことにより意思決定資本を豊かにすることができる。その結果、次の割合が高くなる。

研究授業における自分の立場を意識する。

自身が研究授業で明らかにしたい課題を意識する。

授業で着目する範囲を意識する。

観察の焦点を絞る。

次の割合が高くなる。

「自身が研究授業で明らかにしたい課題」と「授業で着目する範囲」と「観察の焦点」の関連性を意識する。

生徒がどのタイミングでどんな言動を示したのかなど、事実について記録する。

生徒の言動等を基に解釈したことについて記す。

学校の教育活動における研究授業の位置付けを意識する。

研究授業と他の研修会との関連性を意識する。

研究授業に臨む際に自らの教育活動を振り返って課題意識をもつ。

研究授業によって自らの学びが得られると感じる。



〇〇について明らかにしたいのですが、どのような時間的範囲で授業を見たら良いのでしょうか？

スコープ

単元の最初と最後の授業を見るのはどうですか。



今年度初めて〇〇主任になったのですが、どのような心構えで授業を見たら良いのでしょうか？



スタンス

学校の研究主題と照らし合わせて、育成したい資質・能力に着目すると良いかもしれませんね。



（「授業参観者の手引き（仮称）」イメージ）

- ①【スタンス】研究授業において、どんな役割や立場で授業を参観しますか。
- ②【レンズ】授業を参観することで明らかにしたい課題は何ですか。
- ③②で設定した課題と学校で設定された研究主題等には、どのような関連がありますか。
- ④③を踏まえて、また、他の授業参観者のレンズ（授業を参観することで明らかにしたい課題）を知ることを通して①、②を見直し、必要に応じて調整しましょう。
- ⑤【フォーカス】④で調整したスタンス、レンズで研究授業を参観するために、何に/誰に焦点を絞って授業を見ますか。
- ⑥【スコープ】④で調整したスタンス、レンズで研究授業を参観するために、授業をどのような範囲で見ますか。

本研究における目指す教師の具体的な姿（例）

○教員間で、**日常的に**授業改善に向けた**交流**を行う。



○自身の**課題意識に基づき**、日常的に他の教員の**授業を参観したり**、課題解決につながる**情報を収集したりする**。

○授業を見る視点に基づき、授業を参観する。



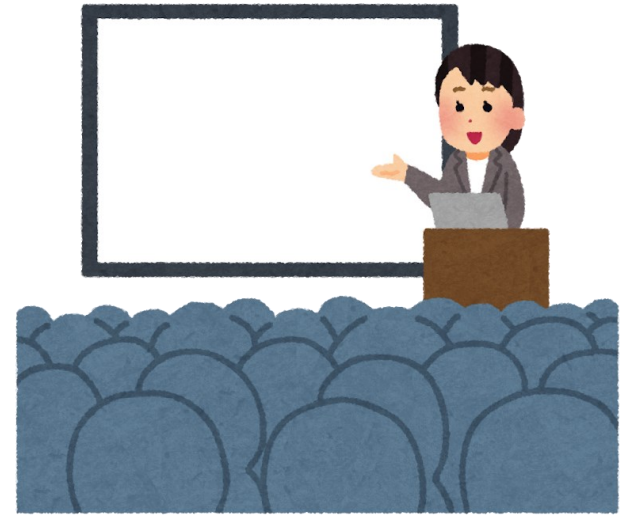
「協働的な学びを促す指導の工夫について学びたいから、グループ活動における生徒たちのやり取りに着目して授業を参観しよう。」

○事後協議において、授業を見る視点に基づき、記録したことについての自身の解釈を述べる。

「研究主題に関連して、〇〇に着目して授業を参観したのですが、ペアトークの中で、△△という生徒の姿が見られました。このような姿は、□□を行うことによって引き出されたものだと考えます。」



○自身の課題意識に基づき、**校内研修に自分なりの意義を見いだしたり、意図的に校外研修を受講したりする。**



○研究授業を参観して得た**学びを自身の授業に生かす。**



福井大学大学院連合教職開発研究科
教授・研究科長 木村 優 様

アンケートに御協力いただいた関係各校の皆様

衷心より感謝申し上げます